

日本版DMO形成・確立計画

1. 日本版DMOの組織

申請区分	広域連携DMO・ 地域連携DMO ・地域DMO	
日本版DMO候補法人の名称	一般社団法人中海・宍道湖・大山圏域観光局	
マーケティング・マネジメント対象とする区域	鳥取県米子市、境港市、日吉津村、大山町、南部町、伯耆町、日南町、日野町、江府町 島根県松江市、出雲市、安来市	
所在地	島根県松江市	
設立時期	平成29年7月14日	
職員数	6名	
代表者：理事長（トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者） ※必ず記入すること	(氏名) 阿部 英治 (出身組織名) 境港市産業部長	中海・宍道湖・大山圏域市長会（以下圏域市長会）会長市の観光振興担当部長として、圏域観光事業の取りまとめを行っており、一般社団法人中海・宍道湖・大山圏域観光局（以下観光局）の理事長（法人法上の代表理事）として理事会のまとめ役を担う。
会長 (法人の業務遂行について 者)	(氏名) 堀田 收 (出身組織) 境港商工会議所会頭	中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会（以下ブロック協）会長として観光局に広域観光連携の取組みについての助言を行うとともに、地域経済の発展に寄与する活動を幅広く行い、多方面で成果を挙げている。
事務局長 各種データの分析・収集等の責任者 (専門人材) 「民間担当責任者」	(氏名) 森 秀雄 専従 (出身組織名) 松江商工会議所理事	長年、行政職員として観光業務に携わり、退職後は松江商工会議所理事となり、行政側と経済界側のパイプ役として広域観光業務を担当する。一昨年より圏域市長会へ出向し事務局次長としてDMO形成の取組みを行ってきた。
事務局次長 各部門の責任者 (専門人材)	(氏名) 井田 克己 専従 (出身組織名)	長年、行政職員として業務に携わり、退職後、今年度から事務局次長として観光局で勤務する。実質的に行政側が中心的な役割を果たす組織体制の中にあって、広域連携事業を推進する上での構成市との調整役を担う。
課長 各部門（プロモーション・旅行商品の造成・販売）の責任者（専門人材）	(氏名) 實重 英紀 専従 (出身組織) 一畑電気鉄道株式会社	観光業界での幅広い人脈と豊富な経験を持ち、プロモーション課長として国内外への観光情報発信、マーケティングの知識を活かした旅行商品の造成や、官民をあげた取組における民間事業者との調整を担う。
連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	島根県松江市観光振興部観光文化課、国際観光課（全般） 〃 出雲市経済環境部観光課（全般） 〃 安来市政策推進部商工観光課（全般） 鳥取県米子市経済部文化観光局観光課（全般）	

(別添) 様式 1

	<p>// 境港市産業部観光振興課 (全般) 鳥取県西部町村会 (日吉津村・大山町・南部町・伯耆町・日南町・日野町・江府町) (全般)</p>
<p>連携する事業者名及び役割</p>	<p>(1) 責任構成団体 中海・宍道湖・大山圏域市長会 中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会 中海・宍道湖観光協会会議 (以下、観光協会会議)</p> <p>(2) 連携団体 中国地域観光推進協議会 (インバウンド誘致強化委員会) 一般社団法人山陰インバウンド機構 (インバウンド向けプロモーションの連携) 神話の国縁結び観光協会 (縁結びを核とした国内向けプロモーションの連携) 大山山麓・日野川流域観光推進協議会 (大山開山1300年祭を契機とする事業連携) 一般社団法人鳥取県西部活性化協会 (飲食店などの受け入れ環境整備での連携) 島根県・鳥取県 (マーケティングのためのデータの共有) 宿泊事業者 (浅利観光(株)、ホテル一畑、皆生温泉旅館組合等) (圏域宿泊事情の知見の共有) 交通事業者 (松江市交通局、一畑バス(株)、一畑電車(株)、日本交通(株)、日ノ丸自動車(株)等) (圏域二次交通対策のための連携)</p>
<p>官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み</p>	<p>(該当する要件) ①、②、③、④ (概要) ①本DMOの最終意思決定機関である総会の構成員として、対象区域の5市及び大山圏域で組織される圏域市長会、経済団体で組織されるブロック協、観光協会で組織される観光協会会議の3団体の各代表者が参画し、幅広い分野で合意形成を図る。 ②本DMO会員である行政、経済界、観光協会の実務レベルの代表者が参画し、事業や予算等について協議する理事会を設置。 ③本DMOの会員である行政、経済界、観光協会がそれぞれの分野で協議会等を設置しており、本DMOと密接に連絡調整を行うことができる。 ④物販・飲食・交通事業者別の連絡会を結成、宿泊業者についても連絡会を結成予定であり、DMOが各連絡会との定期的な調整を行うとともに、広域連携DMOである山陰インバウンド機構との定期的な調整会議によって連携を図る。</p>
<p>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</p>	<p>山陰インバウンド機構と連携し、地域住民に対する参画促進を目的とした取組としてセミナー等を年1回実施するほか、各市の広報誌に年4回圏域の記事を掲載することにより観光地域づくりに関する地域住民の意識啓発を図る。</p>
<p>法人のこれまでの活動実績</p>	<p>(活動の概要) 設立母体の圏域市長会は、設立当初から広域観光連携事業など多様な事業を取り組んできた。またもう一つの設立母体である経済界を中心とするブロック協は、中海・宍道湖・大山圏域観光連携事業推進協議会</p>

(別添) 様式 1

	<p>(以下、広域連携協)を通じて広域観光連携事業に10年前より取り組んでおり、27年度からは両団体が圏域版地方創生総合戦略を策定し、連携して広域観光事業(インバウンド事業を含む)を行ってきている。なお、広域連携協は30年度をもって観光局に発展的統合された。</p> <p>(定量的な評価) 設立直後であり、定量的な評価はしていない。</p>
--	---

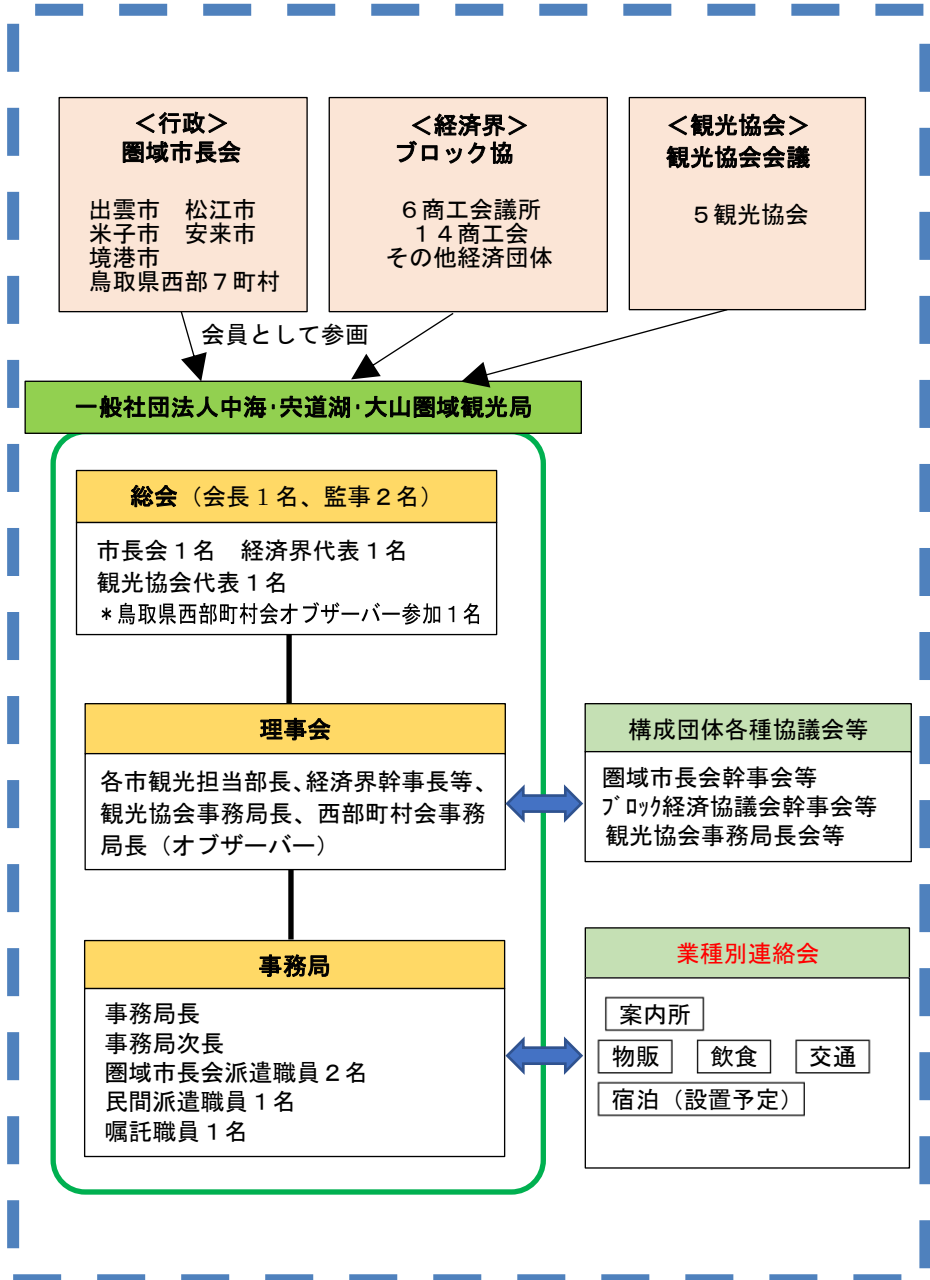
(別添) 様式 1

実施体制

(実施体制の概要)

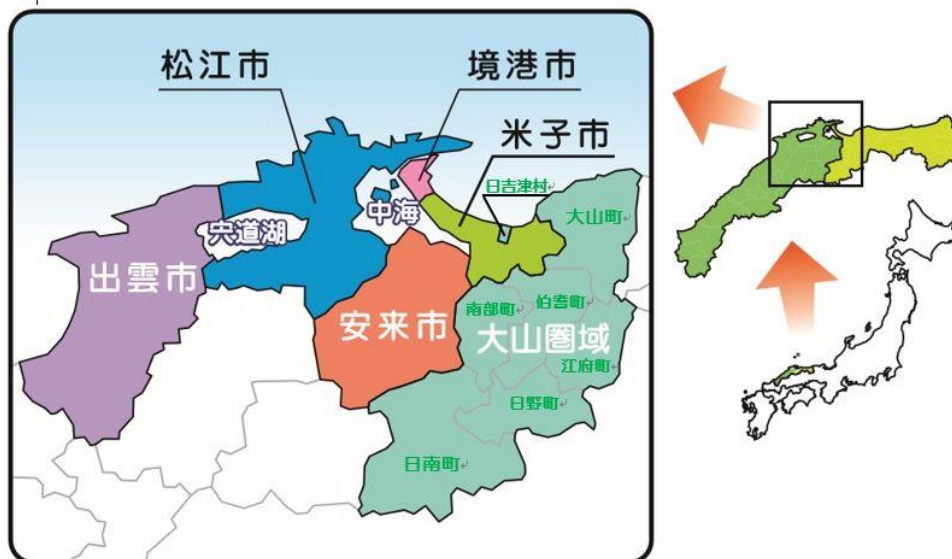
圏域市長会、ブロック協と観光協会会議が母体となり、官民が密接に連携した運営を実施。

(実施体制図)



2. 日本版DMO候補法人がマーケティング・マネジメントする区域

【区域の範囲】



(H27 国勢調査)

県名	自治体名	人口 (人)	面積 (km ²)	産業構成 (%)
鳥取	米子市	149,313	132.42	① 3.6 ②20.8 ③75.7
〃	境港市	34,174	29.02	① 4.1 ②25.9 ③69.9
島根	松江市	206,230	572.99	① 3.9 ②18.3 ③77.8
〃	出雲市	171,938	624.36	① 6.4 ②27.2 ③66.3
〃	安来市	39,528	420.93	①12.0 ②29.2 ③58.8
小計	5市	601,183	1,779.72	① 5.2 ②22.7 ③72.1
鳥取	* 大山圏域 7 町村	53,024	1,046.96	①21.6 ②20.7 ③57.7
合 計		654,207	2,826.68	① 6.5 ②22.6 ③70.9

※産業構成の○数字は、第○次産業就業者数の割合 (例…①は第1次産業)

※表の数値については、四捨五入により合計が一致しない場合がある。

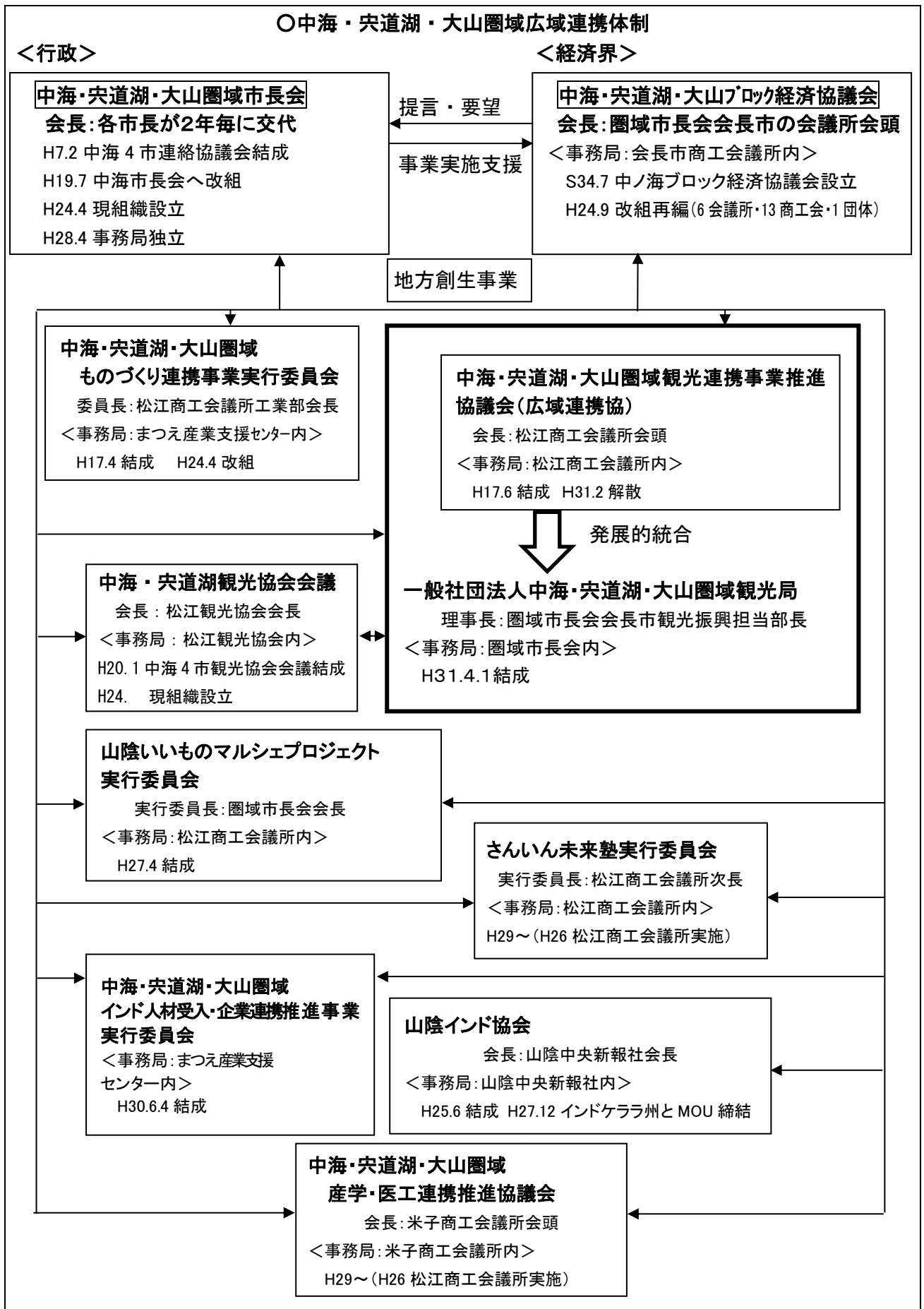
* 大山圏域 7 町村 (日吉津村・大山町・南部町・伯耆町・日南町・日野町・江府町) はオブザーバー参加

【区域設定の考え方】

経済界は、昭和34年から、「中ノ海ブロック経済協議会」を設立、県境意識を排除し産業基盤の整備、観光の振興等を一体となって活動をしてきた。平成24年に圏域市長会と連動して活動をする事及び広域での連携を深めるために「中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会」に改組。

行政は、平成7年に「中海圏域 4 市連絡協議会」を発足、圏域の共通課題等について連絡調整を行ってきた。平成19年からは「中海市長会」へ改組、負担金を拠出して観光・産業振興・環境問題等の事業を実施。平成24年に「中海・宍道湖・大山圏域市長会」を設立、平成27年度には「圏域版総合戦略」を策定、圏域版地方創生事業の取組を始める。その為、独立した事務局体制を確立、経済界と連携して、広域観光・インバウンド事業の取組を実施。

これらの実績、また、観光資源の面からみてもコンセプトとして共通する点が多く、過去の観光動態調査でも、観光客の周遊コースが当該圏域内に集中している点からも当該市町村で連携した区域設定とするのが適切。



【観光客の実態等】

圏域への観光客は、平成25年の出雲大社平成の大遷宮を機に増加しており、また「神々」や「縁結び」「妖怪」などをテーマにした情報発信に加え、松江城の国宝化や大山とたたら製鉄の日本遺産登録等により、圏域の知名度も徐々に高まりつつある。また、尾道松江自動車道の全線開通や出雲一名古屋便の増便に加えて出雲-静岡便、出雲-仙台便の就航等アクセスの向上により観光客の発地帯が広がりにつつある。

一方、外国人観光客は、国際定期路線・航路の充実や米子-香港便の就航、クルーズ船の増加、広島～松江高速バス乗車料の低廉化等により徐々に増加傾向にある。ただ、知名度不足・受入体制の整備が十分に進んでおらず、都道府県別でも全国最下位クラスにとどまっており、地元でも外国人観光客受入環境整備や海外への観光プロモーションなどのインバウンド施策の充実の声が増え盛り返ってきた。

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

神話：出雲神話・出雲神楽・出雲大社・八重垣神社・美保神社・大山・弓ヶ浜

歴史：松江城・月山富田城・米子城跡・たたら製鉄・清水寺・荒神谷遺跡

自然：大山隠岐国立公園・宍道湖、日御碕の夕日

文化：茶道・佐陀神能・足立美術館・安来節（どじょう掬い踊り）・妖怪

味覚：和菓子・出雲そば・宍道湖しじみ・松葉カニ・日本海海産物・地酒

温泉：玉造温泉・皆生温泉・松江しんじ湖温泉・鷺の湯温泉

祭等：神在神事・ホーランエンヤ・松江城大茶会・月の輪まつり・大山たいまつ行列・全日本トリアスロン皆生大会・出雲全日本大学選抜駅伝競走

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

地域	出雲地区	玉造温泉	松江しんじ湖温泉	松江駅周辺	鷺の湯温泉	皆生温泉米子地区	境港周辺	大山周辺
自治体	出雲市	松江市	松江市	松江市	安来市	米子市	境港市	大山町外
施設数	82	17	9	26	4	60	5	65
受入人数	5,123	4,799	1,462	4,780	203	7,051	631	2,171

【利便性：区域までの交通、域内交通】

空路は、出雲縁結び空港・米子鬼太郎空港を擁し、羽田空港、伊丹空港及び名古屋小牧空港から1時間15～30分で1日17便が往復し、また空港から観光地、宿泊地へ20分～1時間で到着が可能であることから首都圏及び関西、中京圏の三大都市圏から比較的短時間で到着が可能。加えて、出雲縁結び空港には福岡便、静岡便、仙台便が発着している。

鉄道は、山陽新幹線岡山駅から1時間45分～2時間で当圏域まで移動できるため、JRの外国人向け周遊パスの設定による関西国際空港からの利便性も高い。

道路は、山陰自動車道、松江自動車道、米子自動車道によりアクセスが可能で、出雲、松江、米子の各市から三大都市圏や山陽方面など主要都市への高速バス路線も充実している。

欧米豪からの観光客が比較的に多く訪れている広島からは、高速バスで2時間から2時間半で到着可能であるが、平成28年4月から広島-松江間の高速バス料金を外国人に限りワンコイン(500円)としたほか、広島-出雲間のJR高速バスがJRの外国人向け周遊パスの対象となっており、利用者が増加している。

海外から圏域への直接的なアクセスが可能なインフラとしては、米子鬼太郎空港の韓国便が週5便から週6便に増便、平成28年9月に就航した香港便が週2便から週3便に増便された。また、海路では境港からロシアと韓国を結ぶ週1便の国際定期貨客船が就航しているほか、クルー

(別添) 様式 1

ズ船も毎年50回前後の寄港があり、平成30年は約6.1万人が訪れている。

○飛行機

羽田空港⇄米子鬼太郎空港 (7 便/日)、出雲縁結び空港 (5 便/日)

伊丹空港⇄出雲縁結び空港 (4 便/日)

名古屋 (小牧) 空港⇄出雲縁結び空港 (2 便/日)

福岡空港⇄出雲縁結び空港 (2 便/日)

仙台国際空港⇄出雲縁結び空港 (1 便/日)

静岡富士山空港⇄出雲縁結び空港 (1 便/日)

仁川国際空港 (ソウル) ⇄米子鬼太郎空港 (週6 便 (火水木金土日) 1 時間30 分)

香港空港⇄米子鬼太郎空港 (週3 便 (火水土) 3 時間45 分~3 時間5 分)

○JR

東京⇄出雲 寝台特急「サンライズ出雲」 (1 便/日)

豪華寝台列車「トワイライトエクスプレス瑞風」平成29年6月運行開始

観光列車「あめつち」 (週3便 (月土日))

「ジャパンレールパス」

・山陽山陰エリアパス (関西空港~博多)

・山陰岡山エリアパス (岡山~山陰)

○高速バス (主要なもの)

東京⇄米子 (3 便/日)、松江・出雲 (3 便/日)

大阪⇄米子 (23 便/日)、松江・出雲 (13 便/日)

京都⇄米子 (4 便/日)

広島⇄米子 (7 便/日)、松江 (18 便/日)、出雲 (9 便/日)

岡山⇄米子 (9 便/日)、松江・出雲 (9 便/日)

○国際定期貨客船

ウラジオストク (ロシア) ⇄東海 (韓国) ⇄境港 (週1 便) 15~16 時間

【外国人観光客への対応】

公共施設、観光地、宿泊施設での多言語表記や無料公衆無線LANの設置は、国や県の支援で少しずつ整備されつつあるが、全体的には遅れているため、こうした受入れ環境整備は喫緊の問題であると認識している。そのため圏域市長会では、平成28年度から英語対応した無料の圏域観光アプリを展開したほか、受入れ意欲の有る宿泊・飲食・小売店事業所約150社に、評価チェックシートによって、外国人観光客への対応に関する評価及び改善点の把握・認識を持ってもらった。これに基づき平成29年度には事業所への個別指導を行い、看板・表示物・商品、メニュー等の説明文の多言語翻訳の支援やピクトグラム化の支援を行った。合わせて従業員の外国人対応については、平成30年度に研修会を開催し、指差し会話による「コミュニケーションシート」の配布を行ったほか飲食店、工芸品に関する着地型の外国語版パンフレットを作成、配布した。

このほか、免税店制度の研修会開催と登録申請の支援を行うなど、受入環境整備のための支援事業を実施することによって、まず各事業所に外国人対応について慣れてもらうことから始め、自立を求めていく予定である。

また、圏域内の観光案内所については、年次的に国際観光案内所認定を目指して整備を図る。

3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
WEBサイトのアクセス状況	地域に対する顧客の関心度や施策の効果等を把握するため。	本DMO英文ホームページのアクセス解析。
旅行消費額	事業成果の測定及び誘客戦略の策定データとするため	観光庁「旅行・観光消費動向調査」を活用するほか、山陰インバウンド機構等と連携してアンケート調査を実施。
観光入込客数	事業成果の測定及び誘客戦略の策定データとするため	島根県及び鳥取県で収集しているデータを活用。
延べ宿泊者数	事業成果の測定及び誘客戦略の策定データとするため	島根県及び鳥取県で収集しているデータを活用するほか、日本観光振興協会「観光予報プラットフォーム」で収集されているデータを活用。
来訪者満足度	事業成果の測定及び誘客戦略の策定データとするため	日本交通公社JTB F旅行実態調査を活用するほか、山陰インバウンド機構等と連携してアンケート調査を実施。
リピーター率	事業成果の測定及び誘客戦略の策定データとするため	島根県及び鳥取県で収集しているデータを活用するほか、山陰インバウンド機構等と連携してアンケート調査を実施。

4. 戦略

(1) 地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	強み (Strengths) <ul style="list-style-type: none">・ 神話や縁結びで有名な「出雲大社」をはじめ、国宝「松江城」、米国の日本庭園専門誌で15年連続日本一に選ばれている「足立美術館」、妖怪をモチーフにした「水木しげるロード」など優れた観光資源を有している。・ ラムサール条約登録湿地や国立公園など豊かな自然に恵まれ、マリンスポーツ、サイクリングや冬のスキーなどスポーツ・ツーリズムの環境が整っている。・ 皆生温泉や玉造温泉など日本有数の温泉地がある。・ 日本有数の漁港である境港で水揚げされるマグロやカニといった日本海の幸、出雲そば、茶の湯文化とともに広まった松江の和菓子といったこの圏域ならではの食が味わえる。	弱み (Weaknesses) <ul style="list-style-type: none">・ 外国だけでなく、日本の中での認知度の低さ。・ 魅力的な観光素材はあるが、旅行先を決定づける旅行商品の開発ができていない。・ 高速道路や公共交通など交通インフラの利便性の悪さ。・ 圏域観光にかかる一体となった情報発信の不足。・ 外国人受入環境整備が不十分。
外部環境	機会 (Opportunity) <ul style="list-style-type: none">・ 訪日外国人来訪者数の増加と地方への進出が期待される。・ 訪日外国人観光客のFIT化により、来訪エリアの多様化が進んでいる。・ アジアを中心とした訪日旅行の定着が進みつつある。・ 出雲空港、米子空港の利用頻度増の可能性と境港へのクルーズ船寄港の増加。・ 広域DMOである山陰インバウンド機構のプロモーションによる山陰の認知度アップが期待できる。	脅威 (Threat) <ul style="list-style-type: none">・ 円高と、中国人の買い物需要の減少への懸念。

(2) ターゲット

<p>○ターゲット層 (海外) 台湾・香港・欧米豪・シンガポール・ロシア・インドの F I T 層</p>
<p>○選定の理由 香港・ロシアは、圏域を結ぶ空路または海路の国際定期航路により来訪者数が伸びており、直接的な着地点としての圏域の強みを活かせること。 台湾、欧米豪、シンガポールは、南北軸ルートで山陽方面からの流入が増加しており、欧米豪は山陽方面への入込数が多く観光消費額が高いこと、台湾、シンガポールは親日国でありリピーター率が高いこと。 インドは、圏域内に設立された山陰インド協会を中心とする人的交流により徐々に来訪者数が増えつつあり、相対的にはまだ少数だが今後新規開拓市場として発展が見込めること。 また、当圏域を含むエリアを対象区域とする広域連携DMOの山陰インバウンド機構のターゲット層とも整合を図ることにより、相乗効果が期待できる。</p> <p>○取組方針 海外プロモーションを中心に行う山陰インバウンド機構と連携をとりつつ役割分担を意識し、外国人観光客受入環境整備を中心に取り組む。</p>
<p>○ターゲット層 (国内) 人口集積地である三大都市圏 (首都圏、関西圏、中京圏) 等の、歴史・神話・文化・自然等に関心が高い層。</p>
<p>○選定の理由 三大都市圏は圏域における来訪者割合の上位を占める地域であり、特に空路の直接的な着地点としての圏域の強みを活かせること。 首都圏は、東京便が出雲、米子両空港に就航していること。 関西圏は、鉄道及び自動車道の陸路による利便性が高いこと。 中京圏は、名古屋便が出雲空港に就航していること。</p> <p>○取組方針 圏域内の大きなイベントやPRキャンペーンを契機に、情報発信力のある人口集積地に対して圏域の魅力ある観光資源を集中的にPRすることで、一層の国内誘客を図る。 ターゲットにあわせたテーマやストーリー、目的別にルート策定・商品開発しプロモーションを行う。</p>

(3) コンセプト

①コンセプト	1) 全体としては、山陰インバウンド機構と併せ、広域周遊ルート「縁の道～山陰～」(Route Romantique San'in)をコンセプトとし、共同PRする。 2) ただし、欧米人には「神話の国：知られぬ日本の面影 山陰」(Land of mythology : Glimpses of Unfamiliar Japan)
②コンセプトの考え方	1) 『日本の和のこころ“縁”(えん)を体感し、その根源である山陰の「神話」、「風土」を楽しみ、真の日本を発見していただく、そして訪れれば人と人との交流を通じ、新たな「出会い」や「絆」が結ばれるという「縁(えん)」をテーマにした旅を提案する』という広域のコンセプトのまさに中心として相乗効果が期待できる施策を実施する。 2) 日本神話が数多く残る地域であり、有名な社寺も多く存在する当圏域はまさに「神話の国」であり、特に欧米人にはその神秘性、静けさ、不思議さが大都市圏では味わえない魅力となる。

5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有	圏域DMOの理事会や会員である行政・経済界・観光協会の実務者レベルの会議を年5～6回程度開催し、戦略に基づく事業等の実施について合意形成を図る。また、山陰をエリアとする他のDMOと年4回程度連絡調整を行うほか、各業種別の連絡会を通して、戦略の意思統一や事業の取組に関する連絡調整を図る。
観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築	圏域内21ヶ所の観光案内所のネットワーク化に取り組んでおり、圏域全体の観光情報をワンストップで案内できる仕組みを構築するとともに、現地研修等を通じて案内所職員のスキルアップを行い、観光客へのサービス向上を図っている。 顧客満足度調査（アンケート）を実施し、PDCAサイクルに基づき観光案内所連絡会において結果をフィードバックできる体制を構築している。 飲食店や物販業者、宿泊業者など観光関連の事業者に向けては、4か国語対応の翻訳サービスや「外国人対応マニュアル」、指差しで会話する「コミュニケーションシート」を製作、販売し、インバウンド対応の強化に取り組んでいる。
一元的な情報発信・プロモーション	英文ホームページで外国人に向けて食、文化、自然など圏域5市の魅力をストーリー仕立てにしたモデルコースにより、圏域全体を紹介する一元的な情報発信を実施。「JAPAN GUIDE」配信動画とも連動している。 また、各種媒体を活用して各市や経済団体と一体となったPRを実施するほか、山陰インバウンド機構との連絡調整会議等、関係機関と情報共有しプロモーションを行う。

6. KPI（実績・目標）

(1) 必須KPI () 内は外国人に関するもの

指標項目	単位	H28年	H29年	H30年	H31・R1年	R2年	R3年
●旅行消費額	円	36,618	36,225	40,169	38,200	38,600	38,900
●延べ宿泊者数	万人	416.0 (9.1)	421.3 (11.7)	429.0 (13.0)	434.0 (14.0)	438.0 (16.0)	441.0 (17.0)
●来訪者満足度	%	78.2	70.8	76.5	77.0	77.5	78.0
●リピーター率	%	70.9	66.8	71.0	71.0	71.5	72.0

※年次及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

島根県及び鳥取県のほか、両県を対象エリアとする山陰インバウンド機構等関係機関と連携して事業を進めるため、島根県観光動態調査及び鳥取県観光入込動態調査の結果等に基づき目標を設定する。

【設定にあたっての考え方】

●旅行消費額

観光庁「旅行・観光消費動向調査」に基づき、圏域における1人あたりの旅行消費額を設定。業種別連絡会による受入環境整備や着地型旅行商品の開発等を進めることにより消費額の増加を目標とする。

●延べ宿泊者数

島根県観光動態調査、鳥取県観光入込動態調査及び公益社団法人日本観光振興協会の観光予報プラットフォーム宿泊実績データに基づき、圏域における宿泊者数を設定。令和3年には平成28年から25万人増の441万人に到達することを目標とする。

●来訪者満足度

日本交通公社JTB F旅行実態調査「旅行先(都道府県)別の満足度」中、島根県及び鳥取県の「大変満足」、「満足」の数値を基に設定。現状では70~80%の比較的高い水準で推移していることから、平成29年から令和3年に向かっては0.5%増を見込んだ数値を目標とする。

●リピーター率

島根県観光動態調査及び鳥取県観光入込動態調査に基づき、圏域への来訪者のうち来訪回数が複数回ある県外客の割合を設定。リピーターの増加とともに新規来訪者の増加による相対的な影響も見込まれることから微増傾向となるものと推計し、令和3年には、平成28年から1%増の72%に到達することを目標とする。

(2) その他の目標 () 内は外国人に関するもの

指標項目	単位	H28年	H29年	H30年	H31・R1年	R2年	R3年
●観光入込客数	千人	28,266 (142)	27,445 (185)	35,815 (180)	38,258 (206)	40,700 (230)	43,142 (254)
		()	()	()	()	()	()
		()	()	()	()	()	()

※項目及び年次・目標数値の設定にあたっての検討のプロセス及び考え方

【検討の経緯】

中海・宍道湖・大山圏域市長会の総合戦略及び圏域5市の総合戦略との整合を図るため、必須KPIに加え当機構独自の目標として設定する。

【設定にあたっての考え方】

●観光入込客数

目標値は、平成27年度に策定された中海・宍道湖・大山圏域市長会の総合戦略のKPIの目標値に合わせており、その令和3年(平成32年)の目標値の設定については、平成26年実績値及び過去5年間の伸び率を基に算出した5年後までの単年毎の増加数を基礎として算出されたもの。

島根県観光動態調査及び鳥取県観光入込動態調査に基づき圏域における入込客数を設定。

7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

(1) 収入

年 度	総収入 (千円)	内 訳	(千円)
H 2 9 年 度	4 4,6 4 5	【市長会からの負担金】 【経済団体等からの負担金】 【収益事業収入】 【その他収入】	4 3,0 0 0 1,6 0 0 0 4 5
H 3 0 年 度	5 1,7 2 2	【市長会からの負担金】 【経済団体等からの負担金】 【補助金収入】 【収益事業収入】 【その他収入】	3 8,5 0 0 1,6 0 0 5,4 6 2 4,4 8 9 1,6 7 1
H 3 1・ R 1 年 度	5 5,0 6 2	【市長会からの負担金】 【経済団体等からの負担金】 【収益事業収入】 【その他収入】	5 0,0 2 5 3,7 0 0 1,2 3 7 1 0 0
R 2 年 度	5 5,7 0 0	【市長会からの負担金】 【経済団体等からの負担金】 【収益事業収入】 【その他収入】	5 0,0 0 0 3,7 0 0 1,5 0 0 5 0 0
R 3 年 度	1 6 0,2 0 0	【市長会からの負担金】 【経済団体等からの負担金】 【委託料収入】 【収益事業収入】 【会費】	5 0,0 0 0 3,7 0 0 1 0 0,0 0 0 1,5 0 0 5,0 0 0

(2) 支出

年 度	総 支 出 (千円)	内 訳	(千円)
H 2 9 年 度	4 4,0 0 2	【マルシェプロジェクト】 【外国人誘客対策事業】 【国内誘客対策事業】 【圏域観光の魅力アップ事業】 【一般管理費】	1 0,0 1 1 1 4,5 8 6 1 4,1 4 3 2,2 1 6 3,0 4 6
H 3 0 年 度	5 0,4 8 6	【マルシェプロジェクト】 【外国人誘客対策事業】 【国内誘客対策事業】 【圏域観光の魅力アップ事業】 【一般管理費】	0 2 6,7 6 0 1 5,9 1 4 4,4 8 0 3,3 3 2
H 3 1・ R 1 年 度	5 5,0 6 2	【外国人誘客対策事業】 【国内誘客対策事業】 【圏域観光の魅力アップ事業】 【一般管理費】	2 6,0 9 0 1 8,7 0 0 1,0 0 0 9,2 7 2

(別添) 様式 1

R 2 年度	5 5,7 0 0	【外国人誘客対策事業】 【国内誘客対策事業】 【圏域観光の魅力アップ事業】 【一般管理費】	2 6,5 0 0 1 9,0 0 0 1,0 0 0 9,2 0 0
R 3 年度	1 2 9,2 0 0	【外国人誘客対策事業】 【国内誘客対策事業】 【圏域観光の魅力アップ事業】 【観光案内所運営事業】 【一般管理費】	1 0,2 0 0 1 5,0 0 0 5,0 0 0 8 7,0 0 0 7,0 0 0

(3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

市長会の総合戦略に掲げられている事業を協定に基づき確実に実施するとともに、毎年度各市及び経済団体等からの負担金に基づく運営資金を確保する。

また、圏域観光案内所連絡会の結成により、現在、広域の現地情報提供ができるシステムの構築に取り組んでいる。将来的に、設置者である市町村等から主要な観光案内所の管理委託を受け、物品販売を含む観光案内所機能の充実と委託料による資金確保を目指す。同時に、着地型旅行商品の造成を取り組み、主要な企業からの会費を徴収する。

8. 日本版DMO形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

圏域構成市町村は、平成29年7月14日開催の中海・宍道湖・大山圏域市長会総会において、地域連携DMOの結成を議決、中海・宍道湖・大山圏域インバウンド機構とともに観光庁に申請し、日本版DMO候補法人として登録された。このたび平成31年4月1日をもって同機構は名称を中海・宍道湖・大山圏域観光局に変更、合わせて一般社団法人として法人格を取得したことにより、行政のみならず経済界、観光協会が一体となって圏域全体の更なる広域観光連携を推進するため、正式な日本版DMOとして登録申請するものである。

9. 記入担当者連絡先

担当者氏名	宇津宮 崇
担当部署名(役職)	企画員
所在地	島根県松江市玉湯町湯町 1793
電話番号(直通)	0852-55-5057
FAX 番号	0852-55-5058
E-mail	mannaka-dmo@nakaumi.jp

10. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	島根県出雲市
担当者氏名	曾田 辰雄
担当部署名 (役職)	経済環境部観光課 インバウンド推進室 係長
所在地	出雲市今市町70番地
電話番号 (直通)	0853-21-6588
FAX 番号	0853-21-6585
E-mail	kankou@city.izumo.shimane.jp

都道府県・市町村名	島根県松江市
担当者氏名	係長 武田 芳治 主任主事 井川 綾
担当部署名 (役職)	観光振興部 観光文化課 主任主事
所在地	松江市末次町86
電話番号 (直通)	0852-55-5214
FAX 番号	0852-55-5634
E-mail	kankou@city.matsue.lg.jp

都道府県・市町村名	島根県安来市
担当者氏名	係長 加藤直子・主任 加藤有美子
担当部署名 (役職)	政策推進部商工観光課
所在地	安来市安来町 878-2
電話番号 (直通)	0854-23-3110
FAX 番号	0854-23-3061
E-mail	kankou@city.yasugi.shimane.jp

都道府県・市町村名	鳥取県米子市
担当者氏名	保木本 賢一
担当部署名 (役職)	経済部文化観光局観光課 係長
所在地	鳥取県米子市東町161番地2
電話番号 (直通)	0859-23-5211
FAX 番号	0859-23-5598
E-mail	kanko@city.yonago.lg.jp

都道府県・市町村名	鳥取県境港市
担当者氏名	立花 順平
担当部署名 (役職)	産業部観光振興課観光振興係長
所在地	境港市上道町 3000 番地
電話番号 (直通)	0859-47-1068
FAX 番号	0859-44-7957
E-mail	kanko@city.sakaiminato.lg.jp

都道府県・市町村名	鳥取県西伯郡日吉津村
担当者氏名	持田 美穂
担当部署名 (役職)	日吉津村建設産業課 課員
所在地	鳥取県西伯郡日吉津村日吉津 872-15
電話番号 (直通)	0859-27-5953
FAX 番号	0859-27-0903
E-mail	mochida@hiezu.jp

(別添) 様式 1

都道府県・市町村名	鳥取県西伯郡大山町
担当者氏名	天島 かおり
担当部署名(役職)	大山町観光課 (課長補佐)
所在地	鳥取県西伯郡大山町末長500
電話番号(直通)	0859-53-3110
FAX番号	0859-53-3163
E-mail	kankou@daisen.jp

都道府県・市町村名	鳥取県西伯郡南部町
担当者氏名	泉 絵梨子
担当部署名(役職)	南部町 企画政策課 主任
所在地	鳥取県西伯郡南部町法勝寺377-1
電話番号(直通)	0859-66-3113
FAX番号	0859-66-4426
E-mail	izumi.e@town.nanbu.tottori.jp

都道府県・市町村名	鳥取県西伯郡伯耆町
担当者氏名	岡田 安路
担当部署名(役職)	伯耆町 商工観光課 課長
所在地	鳥取県西伯郡伯耆町吉長37-8
電話番号(直通)	0859-68-4211
FAX番号	0859-68-3866
E-mail	cis@houki-town.jp

都道府県・市町村名	鳥取県日野郡日南町
担当者氏名	出口 真理
担当部署名(役職)	日南町企画課(室長)
所在地	鳥取県日野郡日南町霞800
電話番号(直通)	0859-82-1115
FAX番号	0859-82-1478
E-mail	deguchi@town.nichinan.lg.jp

都道府県・市町村名	鳥取県日野郡日野町
担当者氏名	入澤真人
担当部署名(役職)	日野町産業振興課(副主幹)
所在地	鳥取県日野郡日野町根雨101
電話番号(直通)	0859-72-2101
FAX番号	0859-72-1484
E-mail	irizawa@town.hino.tottori.jp

都道府県・市町村名	鳥取県日野郡江府町江尾475
担当者氏名	影山 陽平
担当部署名(役職)	江府町農林産業課
所在地	鳥取県日野郡江府町江尾475
電話番号(直通)	0859-75-6110
FAX番号	0859-75-3455
E-mail	kage.neto@town-kofu.jp

法人名：一般社団法人中海・宍道湖・大山圏域観光局 「神話の国：知られぬ日本の面影 山陰」

登録区分名：地域連携DMO

【区域】

鳥取県 米子市、境港市、日吉津村、大山町、南部町、伯耆町、日南町、日野町、江府町
 島根県 松江市、出雲市、安来市

【設立日】平成31年4月1日

【代表者】理事長 阿部 英治(境港市産業部長)

【マーケティング責任者】森 秀雄(事務局長)

【職員数】6名

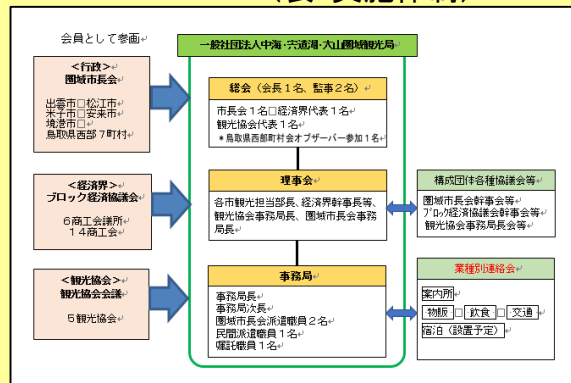
【連携する主な事業者】

行政：中海・宍道湖・大山圏域市長会

経済界：中海・宍道湖・大山ブロック経済協議会

観光協会：中海・宍道湖観光協会会議

(表：実施体制)



(表：KPI(実績・目標))※()内は外国人に関するもの

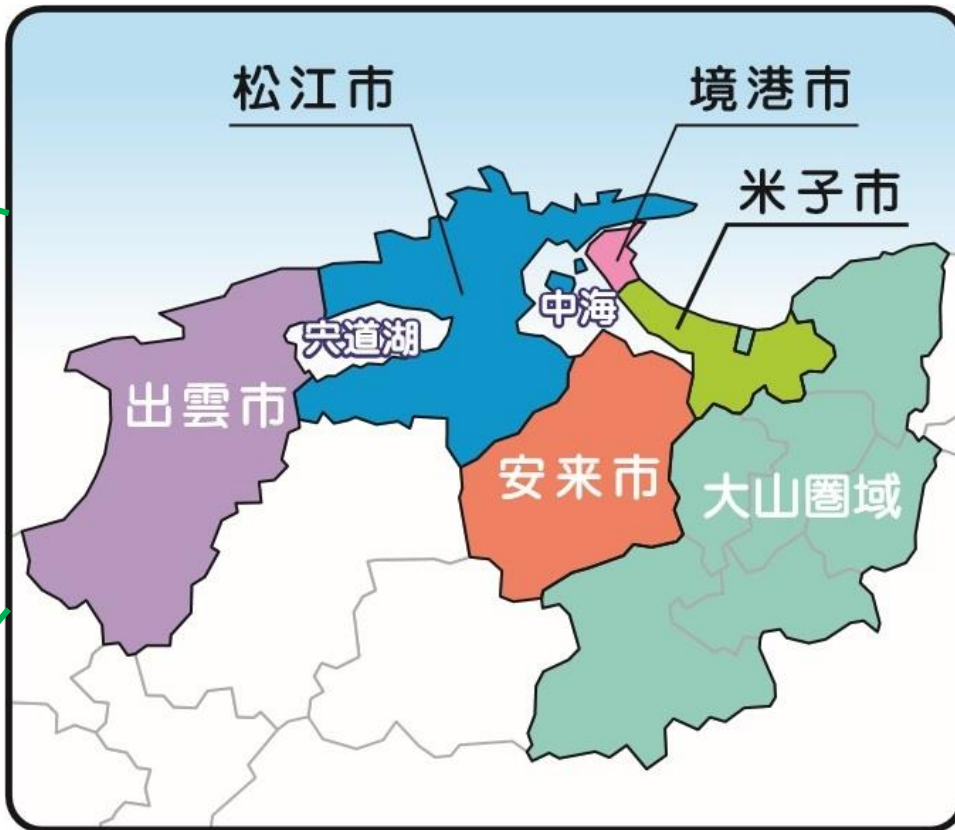
	H28年	H29年	H30年	H31年 R1年	R2年	R3年
旅行消費額(円)	36,618	36,225	40,169	38,200	38,600	38,900
延べ宿泊者数(万人)	416.0 (9.1)	421.3 (11.7)	429.0 (13.0)	434.0 (14.0)	438.0 (16.0)	441.0 (17.0)
来訪者満足度(%)	78.2	70.8	76.5	77.0	77.5	78.0
リピーター率(%)	70.9	66.8	71.0	71.0	71.5	72.0

外国人誘客対策

- ・クルーズ客船寄港時のおもてなし事業 (岸壁での観光案内、交流イベント等)
- ・圏域インバウンド対策事業
 - ①外国人観光客受入環境整備
 - 関連業種別連絡会結成
 - インバウンド研修会開催
 - 二次交通対策
 - 翻訳事業
 - ②海外への観光プロモーション
 - 圏域商品造成し、山陰インバウンド機構を通じてプロモーション

国内誘客対策

- ・国内での観光プロモーション (空港の冬季利用促進等)
- ・三大都市圏への圏域PRプロジェクト (三大都市圏へのプロモーション)



圏域観光の魅力アップ

- ・観光案内所連携充実
 - ①評価チェックシートによる現状把握
 - ②連絡会結成による情報交換システム確立
 - ③国際観光案内所の認定申請カテゴリアップ
- ・観光客受入体制の充実 (各種事業との連携・協力・支援、パンフレット作成等)

他団体・各種事業との連携・協力

- ・山陰インバウンド機構等、他団体との連携
- ・圏域内各種事業、イベントとの連携、協力 (例)
 - ①大山開山1300年祭関連事業
 - ②不昧公200年祭関連事業
 - ③大山隠岐国立公園満喫プロジェクト関連事業
 - ④島根半島・宍道湖中海ジオパーク関連事業
 - ⑤日本遺産関連事業
 - ⑥山陰デスティネーションキャンペーン関連事業等